

---

QL check 履歴

---

22/02/15 ver 1.5

- ・ QL50-12 (Z27), QL50-10・12 (K27) の単位重量を1N/m<sup>2</sup>変更

21/09/27 ver 1.4

- ・ 耐火認定「FP120FL-0197」の耐火チェックにおいて、許容積載荷重算定式が間違っていた不具合を修正

21/07/15 ver 1.3

- ・ 「めっき無し」の場合、板厚が1.2mm以外の場合でも基準強度が205N/mm<sup>2</sup>になっていた不具合を修正
- ・ 「データ読み込み」を行った際、計算書に出力されるデータ名が、読み込み前の名前で表示されてしまう不具合を修正
- ・ 計算結果画面において、鉛直荷重時の合成スラブ自重WDLおよびLWTL、水平荷重時の合成スラブ自重WDLの数値表示方法を、「四捨五入」から「切り上げ」に変更（水平荷重時のWFは、以前から「切り上げ」）

21/04/06 ver 1.2

- ・ 打込み鉋の耐力を変更
- ・ 起動時の「デッキ幅方向」の「接合間隔Py」が、間違っていて200mm固定となっていたのを、300mmで可変な状態に修正
- ・ 「鉄骨梁との接合・耐力」の数値が、「頭付きスタッド」を選択していない時でも変わってしまう不具合を修正

20/12/24 ver 1.1

- ・ 計算ボタンを押した後、耐火チェックを行う前に印刷（耐火付）をすると、耐火の判定が反映されないまま出力されてしまう不具合を修正

19/11/06 ver 1.0

- ・ 『QL Check for win』の耐火認定（FP060FL-9101、FP060FL-9095、FP120FL-9113、FP120FL-9107）を本プログラムに統合
- ・ プログラム統合に伴い、プログラム名称を「QL check ver. 1.0」に変更
- ・ 耐火認定の追加（FP120FL-0194、FP120FL-0197）
- ・ 耐火認定のチェック画面および印刷出力される耐火認定番号を、デッキ種類（QL99-50/QL99-75）によって分けるようにした
- ・ 耐火認定のチェック画面において、耐火認定番号に耐火仕様の名称を併記するようにした
- ・ 地震時積載荷重に「99999」まで入力できるようにした
- ・ 荷重に「その他（数値入力）」を選択した際、地震時積載荷重のデフォルトを「9999」から「99990」に変更
- ・ 「頭付きスタッド」選択時のデッキ長さ方向接合間隔(Px)のデフォルト値を「600mm」から「300mm」に変更
- ・ 多重起動防止機能を追加
- ・ 終了の際、データが編集されていたらデータ保存の確認をするようにした

---

End

---